

平塚市総合計画（改訂基本計画）の策定趣旨

1 改訂の趣旨

本市では、平成28年度から平成35年度（令和5年度）を計画期間とする平塚市総合計画～ひらつかNEXT～（以下、現計画）を策定し、分野別施策とその中から重点的に取り組むべき施策を抽出した重点施策を推進してきました。

また、現計画を地方創生の実現に向けた平塚市総合戦略と一体的に策定し、人口減少問題の克服と地域経済の活性化に取り組んできました。

この度、現計画の計画期間の中間年を迎えたことから、次の視点により、今後4年間における施策や目標を定めるため、現計画を改訂いたします。

2 改訂の視点

- ・現計画の4年間を振り返った結果を踏まえること。
- ・国の動向や社会経済情勢の変化を踏まえること。
- ・新たな課題や住民ニーズに応えること。

3 改訂の範囲

平成30年度に実施した平塚市市民意識調査や転入出者アンケートの結果によると、8割以上の市民が定住意向を示しており、更に前回調査に比べて、暮らしやすさや施策に対する満足度が向上しています。

このことから、施策の継続性を確保するため、現計画の基本的な構成は維持するとともに、基本計画を導く序論部分について必要な見直しを行い、主に上記に掲げた3つの視点をもって、基本計画を改訂します。

4 主な改訂の内容

- ・将来人口の推計や財政状況の見直しを更新します。
- ・市長の新たな公約との整合性を図ります。
- ・成果指標の目標値の修正や新たな成果指標を設定します。
- ・国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定めがあるSDGs（持続可能な開発目標）に対する認識を表現します。
- ・その他、改訂の視点・範囲・内容を踏まえて、必要な事項を見直します。